

フクト実力診断テスト

解答・解説集

ご注意

フクトにて採点をご希望される方は、返信用封筒で4月20日(火)必着でお送りください。
解答記入用紙には採点結果(○や×)を記入しないでください。
採点できないことがあります。
※20日を過ぎて到着した答案につきましては、成績資料作成はいたしかねますので、ご注意ください。



もくじ

◇模範解答と解説

国語	2～3ページ
数学	4～7ページ
英語	8～11ページ



成績資料について

成績資料発送は4月30日(金)を予定しています。

問題番号		模範解答	配点
1	問一	地域 ○	2
		課 (せられ) ○	2
	問二	ア 5 } [両解]	2
		イ 2 }	
	問三	かく 閣 } [両解]	2
		けん 権 }	
	問四	平等	2
	問五	同じス	2
	問六	4 ☆	2
	問七	(1) 専門	2
(2) そんな ☆		2	
2	問一	おもいくらべて ○	2
	問二	せん 先 } [両解]	2
		い 位 }	
	問三	捨て	2
	問四	(1) 6	2
		(2) 2 ☆	2
(3) 西山 ☆		2	

問題番号		模範解答	配点
3	問一	かせつ ○	2
		つ (んで) ○	2
	問二	六 ○	2
	問三	(1) あんまり ☆	2
		(2) 2	2
		(3) 4	2
	問四	29 (行め)	2
	問五	赤	2
	問六	本当 ☆	2
	4	問一	けぶりあひて ○
問二		X 遠 } [全解]	2
		Y 近 }	
		P 山ざくら花 }	
問三		(1) 一本	2
問三		A 緑 } [全解]	2
	(2) B うすべに }		
	C 白 }		
問四	(1) 2 ☆	2	
	(2) 5 ☆	2	
60点満点			

[マークの説明]

- …… 基本事項の理解を確かめる問題です。必ず解けるようにしておきましょう。
- ☆ …… 総合的な読解力を確かめるための、やや難しい問題です。

※著作権の都合上、① 説明的文章 ③ 文学的文章（小説）の解説は省略しています。

② 古典

つれづれぐさ
『徒然草』

《現代語訳》だから(=「されば」)、一生の間に、主として自分がやりたいと思うこと(=「むねとあらまほしからん事」)のなかで、いくつものすべきことについて問二優先順位をつけるとうなるだらうかと(=「いづれかまさると」)よく思い比べて、第一にすべきこと(=「第一の事」)を考え決定して、それ以外は断念して(=「その外は思ひ捨てて」)、決めた一つのことに取り込むべきである(=「一事をはげむべし」)。一日の間でも、一時の間でも、たくさんしたこと(=「あまたのこと」)がやってくるなかで、少しでもためになることがまざっていることを励んで行い、それ以外のことは捨ててしまっ(=「その外をばうち問三X捨てて」)、大事を急ぐべきである。どれも捨てまい(=「何方をも捨てじ」)と心に思って持ち続けるならば、一つのこと成し遂げられるはずがない(=「一事も成るべからず」)。〈中略〉京に住んでいる人が、さし迫って東山に用件があって、もうそこに到着したとしても、西山に行き、問四(2)東山での急ぎの用事よりも重要なことを考えついたならば(=「その益まさるべき事を思ひ得たらば」)、(東山の家)の門から引き返して(=「問四(1)門より帰りて」)西山へ行かなくてはならない(=「問四(3)Y西山へ行くべきなり」)。

＜注意＞ 本文中に、「一事」が二つあります。

本文1行め「第一の事」を案じ定めて、その外は思ひ捨てて、「一事をはげむべし」の「一事」は、「第一の事」と同じです。

本文2～3行め「何方をも捨てじと心に執り持ちては、一事も成るべからず」の「一事も成るべからず」は、「一つのこと成し遂げられるはずがない」という意味です。

このように、同じ語「一事」が異なる意味で使われることが、(古典でも現代文でも)ときどきあります。文脈を意識して、落ち着いて読むことが大切です。

問一 歴史的仮名遣い「おもひくらべて」
→現代仮名遣い「おもひくらべて」

④ 短歌

わかやまほくすい
若山牧水

問一 〈短歌1〉

うらうらと (初句, 5音)
照れる光に (第二句, 7音)
けぶりあひて (第三句, 6音・字余り)
咲きしづもれる (第四句, 7音)
山ざくら花 (結句, 7音)

問二 〈短歌2〉

とほ山の (初句) X遠景
峰越の雲の (第二句)
かがやくや (第三句)
峰のこなたの (第四句) Y近景
山ざくら花 (結句)

問三 〈短歌3〉

常(2)A緑樹
椎の木 (初句) むらがり茂っている
木むらに風の (第二句)
吹きこもり (第三句) (1)一本
ひともと咲ける (第四句)
山ざくら花 (結句)

〈短歌4〉 (2)B

うすべに (初句) } 「山桜花」の「葉」
葉はいちはやく (第二句)
萌えいでて (第三句) }
咲かむとすなり (第四句) } 「花」
山桜花 (結句) } (2)C白色 (注)

問四

(1) 〈短歌2〉

とほ山の (初句)
峰越の雲の (第二句)
かがやくや (第三句)
峰のこなたの (第四句)
山ざくら花 (結句)

(2) 〈短歌5〉 ↓訪れた季節の便り

つばくらめ (初句)
ひるがへりとぶ (第二句)

↓盛りを過ぎたもの

たに
溪あひの (第三句)
山ざくらの花は (第四句)
襷せにけるかも (結句)

問題番号	模範解答	配点
1	(1) -5 ○	2
	(2) -7 ○	2
	(3) $4x+6$ ○	2
	(4) $7x-8y$ ○	2
	(5) $\frac{3a+b}{10}$ ○	2
	(6) -30 ○	2
	(7) $x = \frac{7}{2}$ ○	2
	(8) -9	2
	(9) $45\pi \text{ cm}^3$	2
	(10) 0.27 [小数のみ可]	2
	(11) $\frac{1}{9}$	2
	(12) 41°	2
2	(解答) イベントに参加した大人の人数を x 人, 子どもの人数を y 人とする。 $\begin{cases} x+y=250 \\ 2x+3y=660 \end{cases}$ これを解くと, $x=90, y=160$ これは, 問題にあう。 答 イベントに参加した大人の人数は 90人, 子どもの人数は 160人	6
3	ア $2n+2$ ○	2
	イ $2n+14$ ○	2
	ウ $6n+16$	1

問題番号	模範解答	配点
4	(1) 28 ○	2
	(2) 午後 3 時 40 分	2
	(3) $y = -2x + 24$ ($4 \leq x \leq 10$)	2
	(4) 20 分	2
5	ア $\angle DEB$ ○	1
	イ $\angle EBD$ ○	1
	ウ BD ○	1
	エ 斜辺と 1 つの鋭角がそれぞれ等しい	1
	(2) 3 倍	2
	(3) $\frac{9}{2} \text{ cm}$ ☆	2
6	(1) 4 本 ○	3
	(2) 246 cm^2	3
	(3) 120 cm^3 ☆	3
60 点満点		

※ 同じ値を表す分数や小数は正解とします。

[マークの説明]

- …… 基本事項の理解を確かめる問題です。必ず解けるようにしておきましょう。
- ☆ …… 総合的な思考力を確かめるための、やや難しい問題です。

解説

1 各領域の小問題

- (1) $-12+7=- (12-7)=-5$
 (2) $1+2 \times (-4)=1-8=-7$
 (3) $\frac{2x+3}{4} \times 8=(2x+3) \times 2=4x+6$
 (4) $5(2x-3y)-(3x-7y)=10x-15y-3x+7y$
 $=7x-8y$

(5) $\frac{4a+3b}{5}-\frac{a+b}{2}$
 $=\frac{2(4a+3b)}{10}-\frac{5(a+b)}{10}$ (通分する)
 $=\frac{2(4a+3b)-5(a+b)}{10}$ (1つの分数にまとめる)
 $=\frac{8a+6b-5a-5b}{10}=\frac{3a+b}{10}$

- (6) 負の数を代入するときは、()をつけて代入します。

$-2a^2+ab$ に $a=-3$, $b=4$ を代入して、
 $-2 \times (-3)^2+(-3) \times 4=-2 \times 9-12$
 $=-18-12=-30$

(7) $3x-8=-x+6$
 $3x+x=6+8$ (移項する)
 $4x=14$ (整理する)
 $x=\frac{7}{2}$ (両辺を4でわる)

- (8) y は x の1次関数で、変化の割合は4だから、
 1次関数の式を $y=4x+b$ とすると、 $x=6$ のとき
 $y=7$ なので、 $7=4 \times 6+b \Rightarrow b=-17$
 したがって、 $y=4x-17$ において、 $x=2$ のとき
 の y の値は、 $4 \times 2-17=8-17=-9$

- (9) 底面の直径が6 cm \Rightarrow 半径は3 cm
 (円柱の体積) $=\pi r^2 h=\pi \times 3^2 \times 5=45\pi$ (cm³)

確認しよう!

〔円柱・円すいの体積〕

半径 r , 高さ h とすると

(円柱の体積) $=$ (底面積) \times (高さ)
 $=\pi r^2 h$

(円すいの体積) $=\frac{1}{3} \times$ (底面積) \times (高さ)
 $=\frac{1}{3} \pi r^2 h$

- (10) 1週間の読書時間が6時間以上である3年生の人数は、 $20+8=28$ (人) です。

よって、 $\frac{28}{104}=0.269\cdots \Rightarrow 0.27$

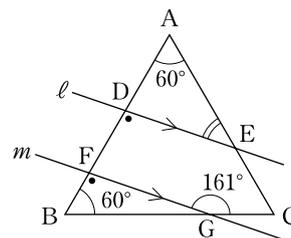
- (11) さいころの目の出かたは全部で36通りあり、出る目の数の積を表にまとめると下のようになります。

A \ B	1	2	3	4	5	6
1	1	2	3	4	5	6
2	2	4	6	8	10	12
3	3	6	9	12	15	18
4	4	8	12	16	20	24
5	5	10	15	20	25	30
6	6	12	18	24	30	36

上の表から、出る目の数の積が9の倍数になるのは、全部で4通りです。

したがって、確率は $\frac{4}{36}=\frac{1}{9}$

- (12)



$\triangle ABC$ は正三角形なので、 $\angle A=\angle B=60^\circ$
 $\triangle ADE$ で、三角形の内角・外角の性質から、
 $\angle FDE=\angle AED+\angle A=\angle AED+60^\circ$
 平行線の同位角は等しいから、 $l \parallel m$ より、
 $\angle BFG=\angle FDE=\angle AED+60^\circ$
 $\triangle BGF$ で、三角形の内角・外角の性質から

$\angle BFG+\angle B=\angle FGC$

$\angle AED+60^\circ+60^\circ=161^\circ$

$\angle AED=41^\circ$

確認しよう!

〔三角形の内角・外角の性質〕

- ① 三角形の3つの内角の和は 180° である。
- ② 三角形の1つの外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。

2 方程式の利用

・ イベントに参加した大人と子どもの人数について

$$x + y = 250 \cdots \textcircled{1}$$

・ 大人と子どもに配った菓子の数について

大人1人あたり2個, 子ども1人あたり3個なので

$$2x + 3y = 660 \cdots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1} \times 2 \quad 2x + 2y = 500 \cdots \textcircled{1}'$$

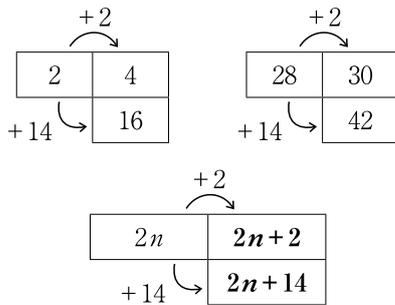
$$\textcircled{2} - \textcircled{1}' \text{ より, } y = 160$$

$$y = 160 \text{ を } \textcircled{1} \text{ に代入して, } x = 90$$

したがって, イベントに参加した大人的人数は **90人**, 子どもの人数は **160人** となり, これは問題にあいます。

3 文字式の利用

(例)



3つの偶数の和は,

$$2n + (2n + 2) + (2n + 14) = 6n + 16$$

真ん中の偶数の3倍に10を加えた数は,

$$3(2n + 2) + 10 = 6n + 6 + 10 = 6n + 16$$

等しいことを表す場合には, それぞれの式を計算し, その結果が等しくなることを示しましょう。

4 関数の利用

(1) グラフより, x の変域が $0 \leq x \leq 4$ のときの変化

$$\text{の割合は } \frac{16 - 40}{4 - 0} = \frac{-24}{4} = -6$$

加湿器を「強」で使用しているとき, 1時間あたりに水は目盛りの値で6減るので, 2時間後の加湿器の水の目盛りの値は $40 - 6 \times 2 = 28$ です。

(2) 加湿器を「強」で使用しているとき ($0 \leq x \leq 4$)

の変化の割合は -6 なので, グラフの傾きは -6 。また, グラフより, 切片は 40 なので, 「強」だけで使用するときのグラフの式は, $y = -6x + 40$ となります。

したがって, 加湿器の水の目盛りの値が 0 になる ($y = 0$) ときの x の値を t とすると,

$$0 = -6t + 40 \Rightarrow t = \frac{20}{3} = 6\frac{2}{3}$$

ここで, 1時間は60分なので, $\frac{2}{3}$ 時間は, $60 \times \frac{2}{3} = 40$ (分) です。

よって, 「強」だけで使用すると, 水の見盛りの値が 40 から 0 になるまでに6時間40分かかるので, 加湿器を午前9時から「強」だけで使用したときに加湿器の水の見盛りの値が 0 になるのは, **午後3時40分** です。

(3) x の変域が $4 \leq x \leq 10$ のとき, グラフは2点

$(4, 16)$, $(10, 4)$ を通っているのを, 求める式を $y = cx + d$ とすると,

$$\begin{cases} 16 = 4c + d \\ 4 = 10c + d \end{cases} \Rightarrow c = -2, d = 24$$

よって, $y = -2x + 24$ ($4 \leq x \leq 10$)

確認しよう!

〔 2点の座標がわかっているときの
一次関数の式の求め方 〕

- ① 2点の座標から一次関数の傾きを求めて, 次に切片を求める方法
- ② 求める一次関数の式を $y = ax + b$ とし, 2点の座標の値をそれぞれ代入して, a, b の連立方程式とみて求める方法

(4) 「強」で使用しているとき ($0 \leq x \leq 4$)

4時間で水は目盛りの値で $40 - 16 = 24$ 減ります。

$$\Rightarrow \text{値が1減るのにかかる時間は, } \frac{4}{24} = \frac{1}{6} \text{ (時間)}$$

「弱」で使用しているとき ($4 \leq x \leq 10$)

6時間で水は目盛りの値で $16 - 4 = 12$ 減ります。

$$\Rightarrow \text{値が1減るのにかかる時間は, } \frac{6}{12} = \frac{1}{2} \text{ (時間)}$$

よって, $\frac{1}{2} - \frac{1}{6} = \frac{1}{3}$ (時間) \Rightarrow **20分** おそい

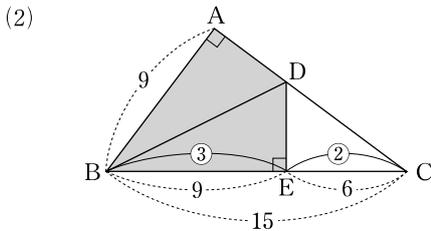
5 平面図形

(1) 確認しよう!

[直角三角形の合同条件]

① 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

② 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい



$\triangle ABD \equiv \triangle EBD$ より, $BE = 9 \text{ cm}$

$EC = BC - BE$

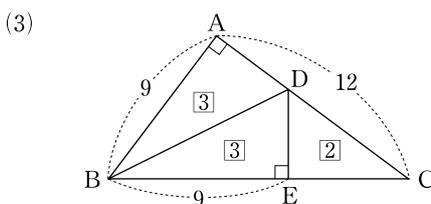
$$= 15 - 9 = 6 \text{ (cm)}$$

$BE : EC = 9 : 6 = 3 : 2$

$$\Rightarrow \triangle EBD = \frac{3}{2} \triangle CDE$$

$$\begin{aligned} \left(\begin{array}{l} \text{四角形 ABED} \\ \text{の面積} \end{array} \right) &= \triangle ABD + \triangle EBD \\ &= 2 \triangle EBD \\ &= 2 \times \frac{3}{2} \triangle CDE = 3 \triangle CDE \end{aligned}$$

よって, 四角形 ABED の面積は, $\triangle CDE$ の面積の 3 倍です。



$\triangle ABD \equiv \triangle EBD$, $BE = 9 \text{ cm}$,

$\triangle EBD : \triangle CDE = 3 : 2$ より,

$$\triangle EBD = \frac{3}{8} \times \triangle ABC$$

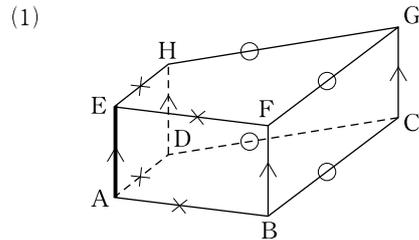
$$= \frac{3}{8} \times \frac{1}{2} \times 9 \times 12 = \frac{81}{4}$$

$\triangle EBD = \frac{1}{2} \times BE \times DE$ より,

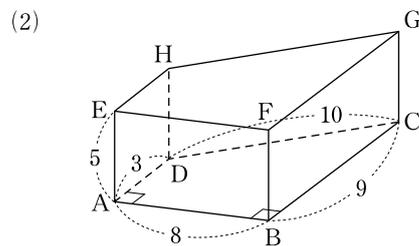
$$\frac{81}{4} = \frac{1}{2} \times 9 \times DE$$

$$\Rightarrow DE = \frac{9}{2} \text{ (cm)}$$

6 空間図形



辺 AE と辺 BF, CG, DH は平行で, 辺 AE と辺 AB, AD, EF, EH は交わっています。したがって, 辺 AE とねじれのある位置にある辺は辺 BC, CD, FG, GH の全部で **4 本** です。

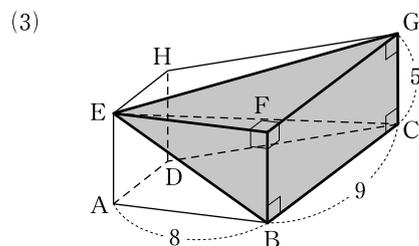


(表面積) = (底面積) \times 2 + (側面積)

$$= \frac{(3+9) \times 8}{2} \times 2 + 5 \times (8+9+10+3)$$

$$= 96 + 150$$

$$= \mathbf{246 \text{ (cm}^2\text{)}}$$



四角すい BCGFE において, 底面を長方形 BCGF, 高さを EF として考えます。

(四角すい BCGFE の体積)

$$= \frac{1}{3} \times (\text{長方形 BCGF}) \times EF$$

$$= \frac{1}{3} \times (9 \times 5) \times 8$$

$$= \mathbf{120 \text{ (cm}^3\text{)}}$$

確認しよう!

[角柱・角すいの体積]

(角柱の体積) = (底面積) \times (高さ)

(角すいの体積) = $\frac{1}{3} \times$ (底面積) \times (高さ)

問題番号		模範解答		配点
1	問題 1	(1)	エ ◎	1
		(2)	ウ	1
	問題 2	(1)	ウ	1
		(2)	エ	1
	問題 3	(1)	ウ	2
		(2)	エ	2
		(3)	イ	2
(4)		goes, Thursday [両解] ☆	2	
2	問 1	(1)	ウ	1
		(2)	ア	1
		(3)	イ	1
	問 2	(1)	children	1
		(2)	Wednesday	1
		(3)	hundred	1
	問 3	(1)	September	1
		(2)	sport	1
		(3)	hours	2
3	問 1	(1)	ア ◎	1
		(2)	ア ◎	1
		(3)	ウ ◎	1
	問 2	(1)	sing	1
		(2)	taking	1
		(3)	came	2
	問 3	①	bought	2
		②	made (cooked)	2
		③	(例) looked happy ☆	2

問題番号		模範解答		配点
4	問 1	(1)	エ ◎	1
		(2)	イ ◎	1
		(3)	カ ◎	1
	問 2	(1)	How, much [両解]	2
		(2)	What, time [両解]	2
		(3)	How, many [両解]	2
問 3	(1)	(例) Whose computer is this	2	
	(2)	Why do you want to work in Australia ☆	2	
5	問 1	helped me a lot	2	
	問 2	ウ	2	
	問 3	3 (階)	2	
	問 4	(1)	staying ☆	2
		(2)	interested ☆	2
問 5	イ	2		
60 点満点				

代替問題の答え	
問題 1	(1) 3 (2) 2
問題 2	(1) 2 (2) 4
問題 3	(1) 3 (2) 2 (3) 1 (4) forty, morning [両解]

〔マークの説明〕

- ◎ …… 基本事項の理解を確かめる問題です。必ず解けるようにしておきましょう。
- ☆ …… 総合的な思考力を確かめるための、やや難しい問題です。

1 リスニングテスト [読まれた英文]

問題1 (1) ア There is a bench under the tree.

- イ Kenji is playing with his dog.
- ウ Yuka and Emi are playing tennis.
- エ There are four people in this picture.

(2) ア Keiko came home at four thirty.

- イ Keiko helped her mother before dinner.
- ウ Keiko did her homework after she watched TV.
- エ Keiko played a video game with her brother for an hour.

問題2 J = John M = Misaki

(1) J : This cake is very good!

M : Thank you. I made it with my mother yesterday.

J : Really! May I have more?

M : (チャイム)

(2) J : I like winter. Do you like winter, too?

M : No, I don't like cold weather very much.

J : What's your favorite season?

M : (チャイム)

問題3 I'm Naomi. I like music very much. I started playing the piano when I was seven years old. Now I take piano lessons every Tuesday. I also like reading books. I go to the library every Thursday.

My father teaches English at a high school. He likes to run, so he often runs in the park. My mother works at a restaurant. She likes music, too. She plays the guitar very well.

I have a dog. His name is Rocky. I get up early every morning and walk him in the park near my house.

〈Q.1〉 Is Naomi's father an English teacher?

〈Q.2〉 What does Naomi's father like to do?

〈Q.3〉 Does Naomi's mother go to the park with

Rocky every morning?

〈Q.4〉 When does Naomi go to the library?

[日本語訳]

問題1 (1) ア 木の下にベンチがあります。

- イ 健二は自分の犬と遊んでいます。
- ウ 由香と恵美はテニスをしています。
- エ この絵の中には4人の人がいます。

(2) ア けい子は4時30分に帰宅しました。

- イ けい子は夕食前にお母さんを手伝いました。
- ウ けい子はテレビを見たあと宿題をしました。
- エ けい子は弟と1時間テレビゲームをしました。

問題2 J = ジョン M = 美咲

(1) J : このケーキはとてもおいしいですね!

M : ありがとう。昨日、母と作りました。

J : 本当に! もっと食べてもいいですか。

M : (ええ、もちろん。)

(2) J : ぼくは冬が好きです。あなたも冬が好きですか。

M : いいえ、私は寒い天候はあまり好きではありません。

J : あなたの大好きな季節は何ですか。

M : (夏です。)

問題3 私は直美です。音楽が大好きです。私は7歳のとき、ピアノをひき始めました。今は毎週火曜日にピアノのレッスンを受けています。私は本を読むことも好きです。毎週木曜日に図書館に行きます。私の父は高校で英語を教えています。父は走ることが好きなので、よく公園を走ります。母はレストランで働いています。母も音楽が好きです。母はともじょうずにギターをひきます。

私は犬を飼っています。名前はロッキーです。私は毎朝早起きをして、私の家の近くの公園で彼を散歩させます。

〈Q.1〉 直美のお父さんは、英語の先生ですか。

〈Q.2〉 直美のお父さんは、何をすることが好きですか。

〈Q.3〉 直美のお母さんは、毎朝ロッキーと公園に行きますか。

〈Q.4〉 直美は、いつ図書館に行きますか。

解説

2 表現・語句

問1 (1) **ウ**を選び、「絵美は10歳です。」という文にします。～ years ago は「～年前」、～ years later は「～年後」という意味になります。

(2) () のすぐ後が things と複数形になっていることに着目。**A**を選び、「私は今日やるものがたくさんあります。」という文に。much の後には数えられない名詞、every の後には名詞の単数形が続きます。

(3) **イ**を選び、「私たちは向こうにいる背の高い少女を知っています。彼女の名前はナンシーです。」という文に。

問2 (2) 「火曜日」 Tuesday の次にくる曜日は「水曜日」 Wednesday です。

(3) 「100」は hundred と表します。数字のあとには hundred に複数を表す s をつけません。

〔例〕「200」 two hundred

問3 (1) 「9月は1年で9番目の月です。」

(2) 「麻衣子のいちばん好きなスポーツはバスケットボールです。」

(3) 「1日は24時間あります。」
hours と複数形にすることに注意。

3 動詞の時制

問1 (1) will の後には動詞の原形が続くので、**A**を選びます。「トムとジェーンは明日、福岡を出発するつもりです。」という文に。

未来を表す表現には、will の他に be going to を使った表現があります。

確認しよう!

☆ 未来を表す表現 ☆

・ will + 動詞の原形

〔例〕 I will buy a new bag next month.
「私は来月新しいバッグを買うつもりです。」
It will be sunny tomorrow.
「明日は晴れるでしょう。」

・ be going to + 動詞の原形

〔例〕 I'm going to play tennis after school.
「私は放課後テニスをするつもりです。」

(2) 主語が you であること、また一般動詞を使っていない疑問文であることから、**A**を選びます。「あなたは野球チームに入っていますか。」

(3) 時制が過去で、一般動詞を使った否定文であることから、**ウ**を選びます。「私の兄は、昨日泳ぎませんでした。」

問2 (1) Please の後には、**動詞の原形**を続けます。「私のために英語の歌を歌ってください。」

(2) **過去進行形**〈 was / were + ~ing 〉の疑問文にします。動詞 take を使って、「あなたはそのとき公園で写真を撮っているところでしたか。」という文に。

(3) last month より時制は過去。come を過去形 came にして、「マークは先月、アメリカから来ました。」という文に。

問3 時制が過去なので、動詞はすべて過去形にすることに注意。

- ① 「買う」 buy を過去形 bought に。
- ② 「作る」 make を過去形 made に。
- ③ 「うれしそうに見えました」は「～のようだ」の意味を表す〈 look + 形容詞 〉の形を使います。look を過去形にして、looked happy に。

4 疑問詞のある疑問文とその答え

よく使われる疑問詞を復習しましょう。

確認しよう!

☆ 主な疑問詞の意味 ☆

When	「いつ」
Where	「どこに(で)」
Who	「だれが」
What	「何が(を)」
* What time	「何時に」
How	「どのように」
* How many	「いくつの」
* How much	「(値段が)いくら」
Why	「なぜ」
Whose	「だれの(もの)」
Which	「どちらの」

問1 (1) 「あなたは日曜日に何をしますか。」

→ 「私はよく部屋を掃除します。」と答えているエ

(2) 「あなたはいつ田中さんを見ましたか。」

→ 「私は彼を昨日見ました。」と答えているイ

(3) 「田中さんの出身はどこですか。」

→ 「彼は小倉出身です。」と答えているカ

問2 (1) Bが「2,000円です。」と値段を答えています。よって **How much** ～? で「このTシャツはいくらですか。」とたずねる文に。

(2) Bが「7時です。」と時刻を答えています。よって **What time** ～? を使って「あなたはふつう何時に朝食を食べますか。」とたずねる文に。

(3) Bが「2個のたまごが必要です。」と個数を答えています。よって **How many** ～? で「あなたは何個のたまごが必要ですか。」とたずねる文に。

問3 (1) ものの所有者をたずねるときは **Whose** を使って表します。

(2) 「あなたはなぜオーストラリアで働きたいのですか」と考え、**Why** で文を始めます。「働きたい」は **want to** ～ を使って **want to work** と表します。主語が **you** なので **do you** ～? と疑問文を続けます。

5 長文の読解〔日本語訳〕

ぼくはこの前の夏にロンドンを訪れ、2週間そこに滞在しました。行く前に、ぼくはホストファミリーのことを何も知りませんでした。青い目をした金髪の白人の人たちだと思っていました。でも、ぼくはインド人の家庭に滞在しました。ぼくは、ロンドンにたくさんのインド人がいることを知りませんでした。ぼくのホストファミリーのメンバーはみんなとても親切で、彼らはぼくをたくさん助けてくれたので、本当にうれしかったです。ぼくは、彼らとともに楽しく過ごしました。ぼくのホストファーザーとマザーは、インドのアクセントがある英語を話し、それらを理解することは難しかったです。ぼくのホストブラザーのジャミールは、イギリスのアクセントで英語を話します。1つの家族の中で、異なるアクセントの英語を話しています！それはとても興味深いです。

ある日、ぼくはジャミールに、「サッカーをしよう。」と言いました。そのとき彼はぼくに、「いいよ、でも、イギリスでは 'soccer' ではなく、'football' をしよう、と言うんだよ。」と言いました。ぼくは、「本当に？それはとてもおもしろい。知らなかったよ！」と言いました。彼は、「アメリカ英語とイギリス英語は少し異なっているんだよ。アクセントが異なっていて、異なる単語を使うときもあるんだよ。」と言いました。彼は、「ぼくたちが、イギリス英語で建物について話すとき、ぼくたちは 'first floor' ではなく、'ground floor' と言うんだ。イギリス人にとって、'first floor' は建物の2階を意味するんだ。」と別の例をあげました。

この経験から、世界にはたくさんの種類の英語があり、それぞれの種類が特有のアクセントを持っていることをぼくは学びました。ぼくはそれがとても興味深いと思うので、英語の様々な多様性についてもっと学びたいと思っています。

問1 ～ they (helped me a lot), so ～
a lot は動詞を修飾します。

問2 すぐ前の文に着目します。ジャミールの家族の中では、両親はインドのアクセントがある英語を話し、ジャミールはイギリスのアクセントがある英語を話します。それが、健にとって興味深いものだと書いてあります。

問3 本文13～14行目に着目。イギリスでは **first floor** とは建物の2階を表すと書いてあることから、**second floor** は3階だと判断します。

問4 (1) 「この前の夏、健はロンドンでジャミールの家庭に滞在することを楽しみました。」

enjoy の後には動詞の～ing形を続けます。よって、「滞在する」**stay** を **staying** に。

(2) 「ロンドンで、健は英語の様々な多様性に興味をもつようになりました。」

〈**be interested in** ～〉で「～に興味をもつ」

問5 ア 本文3～4行目より、○

イ 健が滞在したのは、ロンドンにあるジャミールの家です。

ウ 本文15～16行目より、○

エ 本文5～6行目より、○